

力をつける

今日の言葉

真摯に 謙虚に 着実に

6B片山学級に

平成29年 1 月23日

北海道 & 神奈川 & 広島よりお客様が来られました

ご報告その1

またまた、私ごとで、たいへん恐縮なのですが、1月13日(金)に、北海道&神奈川県&広島より7名が片山学級の視察にお見えになりました。電子メールで、当日の記録・感想が送られてきましたので、この場をお借りしてご報告いたします。いつもの片山学級の1日です。

新保元康校長先生@北海道札幌市立秀峯西小学校のご感想 その1

片山学級のすごさは想像を超えていました。
あえて三つのキーワードを挙げると

- ・信頼のシステム
- ・徹底した実行
- ・開放された心 です。

細部に至るまで徹底的にシステムが磨き上げられています。そして、それが常にメンテナンスされ、実行されています。きちっとしているのに子どもは極めて開放的!!笑顔満載!

1) 8:15スタート

何より驚いたのは、8:15にミニテスト?が始まったこと。その10秒前まで僕と楽しく話していた子供たちがぱっと変身、見事に集中する姿に驚きました。8:15は、本校の子どもが登校始める時刻。ダントツのスタートダッシュに脱帽。

2) とにかく切り替えの姿がすごすぎる

何でもぱっと変わります。見事に変わります。全員で鮮やかに変わります。見事な朝の盛り上げ音頭? の直後に鉛筆の音しか聞こえない時間 の直後に3人での話し合い(意図的な3人組!) 集中が切れないのです。

3) 予習の徹底

教科書に徹底的に書き込みながらの予習が当たり前。授業はその予習の交流から始まります。既に授業の半分が終わっている感じです。

4) 宿題、家庭学習の量が半端じゃない

ものすごい量です。それを喜んでやっている。保護者から「早く寝られる程度にしてほしい」との声があるとか。でも、子どもが喜んでやっているのでも、子どもをその気にさせる片山先生!

5) ICTは、液晶TV、プロジェクタの二刀流

もちろん完璧に使いこなしています。プロジェクタは黒板に投影。十分過ぎる見え方わかりやすさでした。PCは2台。わけもなく、極めてスムーズに使いこなす姿驚きでした。

6) 中学校の教科書がある!

中学校を意識させる仕掛けが随所にありました。中学校に向けてのドリルも既に完了。

7) 教える

片山先生は、ちゃんと教えてくれる。あくまでも優しく、穏やか、大きな声はなし。そして、発問の合間合間にさりげなく教えている!!! このつぶやき指導の見事さ! 子どもはだからこそ安心してついて行けると思いました。

8) 辞書を引かせる

重要な言葉では必ず立ち止まります。「施行」とかです。そして、直ちに辞書を引く子どもたち。一つ一つの活動が完全に子どもに染みこんでいて完全自動化しています。だから、次々と活動を組み込んでも時間は最小限。密度の高い授業が続くのです。

9) 現実を引きつけながら

社会科の授業では安倍首相の名前が何度も出てきました。現実と教科書の内容を結びつけながら進みます。そして、家庭学習でどんなことを調べて来るとよいか。小さなヒントを次々つぶやいていました。戦略的にタネを撒く仕掛け人=片山先生です。

10) 規律を守り開放されている子どもたち

学習規律は、もちろん厳格です。そして、子どもたちは実に開放されのびのびしています。この二つが同時に実現することはそう簡単ではありません。秋田では、学習規律は見事ですが学級は暗い感じがします。(私の見た範囲ですが...) 片山学級の子どもたちは実に明るく愉快!!! 給食時間の後には「恋ダンス」を披露してくれました。なにか桃太郎の学級音頭??みたいのもありました。ノリノリです。そしてさっと授業に集中します。ただただ見事としか言いようがありませんでした。授業中も、分からないことは率直に質問する。いろいろなことを子どもつぶやきます。空気が極めて自然。本当にすごいクラス。(続く)

力をつける

今日の言葉

細分化して考える

6B片山学級に

平成29年 1月23日

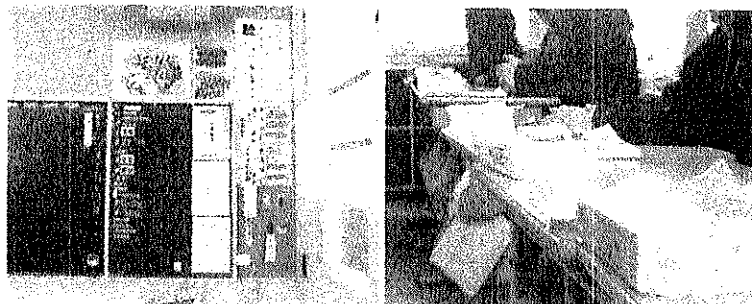
北海道 & 神奈川 & 広島よりお客様が来られました

ご報告その2

新保元康校長先生@北海道札幌市立菟寒西小学校のご感想 その2

1.1) 校長の信頼

坪井校長からの高い信頼を随所感じました。
指導主事も務めていた校長の経営方針を受け、
山先生がその片腕となっていることを実感しました。
赤磐市の学力状況はかなり厳しかったのが、
改善しているそうです。
校長先生には、すごい気を遣っていただきました。
何度も差し入れをいただいたり
こまめに気を遣ってくださって本当に恐縮しました。



1.2) みんなに信頼される片山先生

他の学級の授業
放課後の研修も見せていただきました。
片山先生の指導を目指し
一丸となっている様子がよくわかりました。
テンポ良く
しっかりノートに書かせ
学習方法が身に付き
自動的に学び
実力が高まる
そんな空気が共有されているのです。
ホントにすごいです。

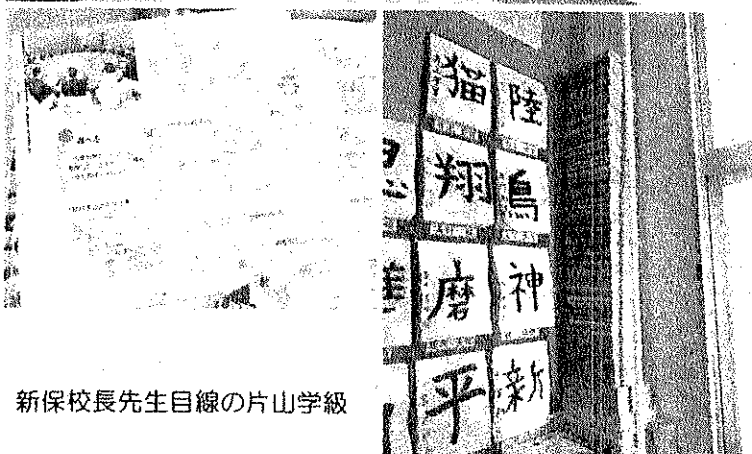


番外1)

こ余るおもてなし
ホテルに同宿しての空港への送迎…
食事の手配…
我が校の若者もすっかりお世話になりました。
本当に恐縮しています。

番外2)

5時間目に（お礼代わりに？）
雪の授業をさせていただきました。
1つの教室に3学級78名の6年児童が集結。
その見事な集中と反応！！
大感激でした。
こんなすごい子どもがいるのだろうか！！



新保校長先生目線の片山学級

番外3)

6時間目は
佐藤先生の別海根室紹介
本校の若手2名による札幌紹介
新井永井チームの二宮紹介
大爆笑の1コマでした。
佐藤先生は、ピコ太郎になっていました。

#唯一の問題は

学校中の窓が開いていたことです。
これまでの出川小等での経験で準備はしていったのですが
45分で耐えられなくなりました。
マイナス5℃ぐらいだったと思います。



力をつける

今日の言葉

ホスピタリティ
(おもてなし)

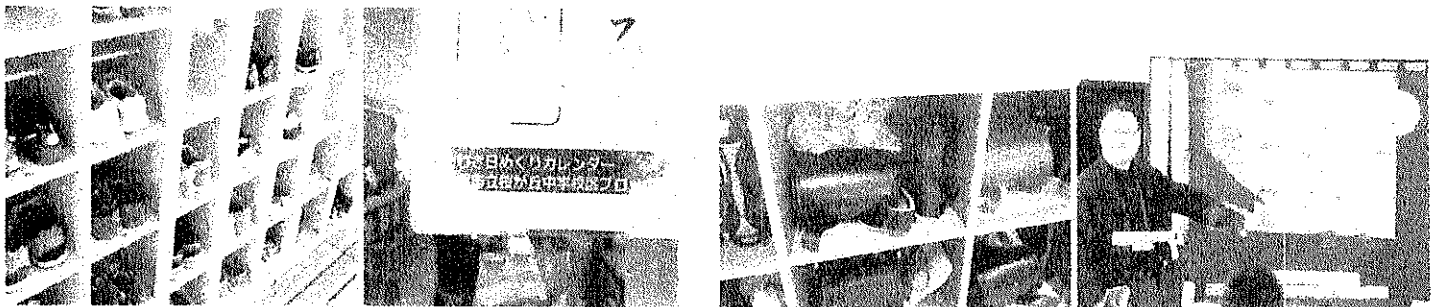
6B片山学級に

平成29年1月23日

北海道 & 神奈川 & 広島よりお客様が来られました

ご報告その3

新井先生@神奈川県二宮町教育委員会のご感想 その1



新井先生目線の片山学級 その1

【子供たちの力】

・おもてなし力

職員玄関に私たち一人ひとりの名前が書かれた「ようこそ」のお出迎え。そのようなホスターは玄関だけでなく校舎内のあちこちに。控室にしてくださいと会議室に迎えにきてくれたり、給食の席が決まっています案内してくれたり、おもてなしの気遣いを随所で感じました。

・質問力

朝、教室に入るよりも前に「神奈川の新井先生ですね。教育委員会ってどんなお仕事をされているのですか」という質問を受けました。ノートに日々の疑問や調べたいことを書き取っているそうです。(日産ノートと書いてありました。)私たちの訪問が子供たちにとって実りあるものになるように、片山先生と子供たちが準備してくださっていたことが伝わりました。

・競う力

子供たち自身が、家庭学習のノート(じみノート)を自分の誇りとして取り組んでいました。廊下にカラーコピーで掲載されていたり、当日の素晴らしいものは学年みんなが通る廊下に置かれていたり、やる気にさせるしかけがありました。でも、それ以上に子供たちのやる気がすごい。お互いのノートをよく見えています。クラスの誰が一番頑張っているか知っています。切磋琢磨していました。

・集中力

シーンとしてカリカリと鉛筆の走る音。「さあ、では始め」の片山先生の一言で、3人組での話し合いが一気に始まります。個と全の切り替えのすごさ。自分の言葉で語るところ、教科書の言葉に戻るところ、辞書で引くところ、瞬時に切り替えて学びを深めていました。

・まとめる力

ノートは「自分の考えをまとめ整理するところ」という感じがしました。予習をしっかりとしているので、ノートに書くことの予想ができています。だから、自分が大事だと思ったところは色をつけたり、吹き出して補足したりしていました。板書を基本としながらもそれぞれのノートが完成していました。

・発言力

片山先生の問いかけに口々に答えます。「隣と」の一言で3人組で話しはじめ、「説明して」などの一言で挙手による発言が始まり、何人かが言ったかと思うと、全員が起立して一斉に読む。このシステムの完成度。自分が今、何の発言を求められているのか理解している子供たちでした。ノート添付用のカラー印刷が配られれば「片山先生、ありがとうございますっ! イェーイ」と全員で盛り上げます。クラスの一体感、半端なかったです。